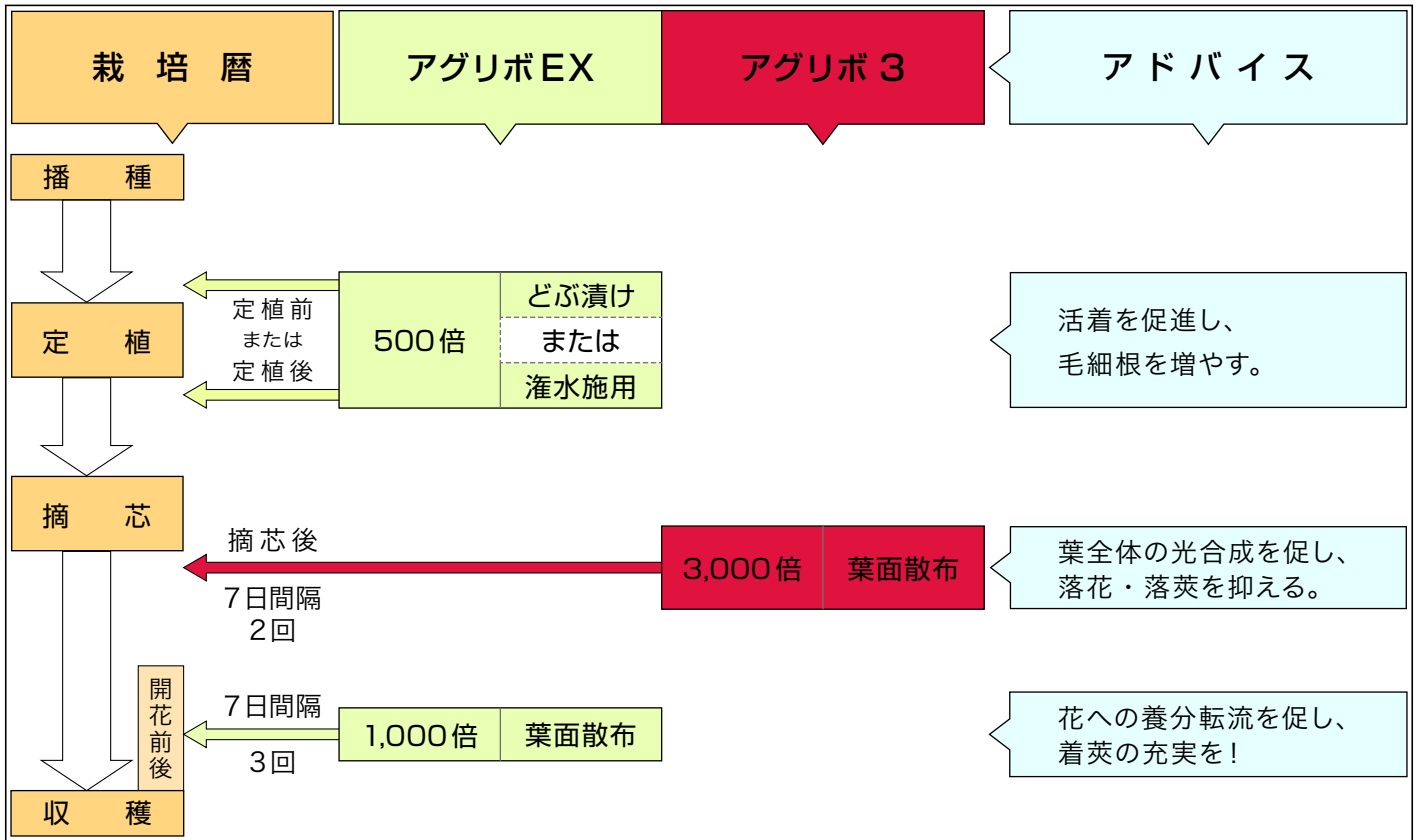


「摘芯後」と「開花前後」がポイント

そら豆は、上位葉から下位葉までしっかり陽に当てることが大切です。誘引や整枝を上手に行ない、光合成を活発にして落花や落ち莢を少なくしましょう。「アグリボ」もお手伝いします。



しみ症対策に、ヤワラ！

多肥や乾燥・高温などで、根からのカルシウム吸収量が低下すると“しみ症”が発生します。葉面からの吸収効率が高い「ヤワラ」を500～1,000倍に希釈し、発生する前に葉面散布してください。

低温期の寒さ対策にも、ヤワラ！

「ヤワラ」に含まれるカルシウム成分で組織をしっかりと作り、トレハロースで細胞を保護し、寒さを乗り切ってください。冷え込みが予想される2～3日前に、500倍に希釈して葉面散布。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”（界面活性剤・トレハロース）入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328